

## 東南大学（中国）

国際文化交流学部 国際文化交流学科 高橋 優大

留学期間：2019.9~2020.1

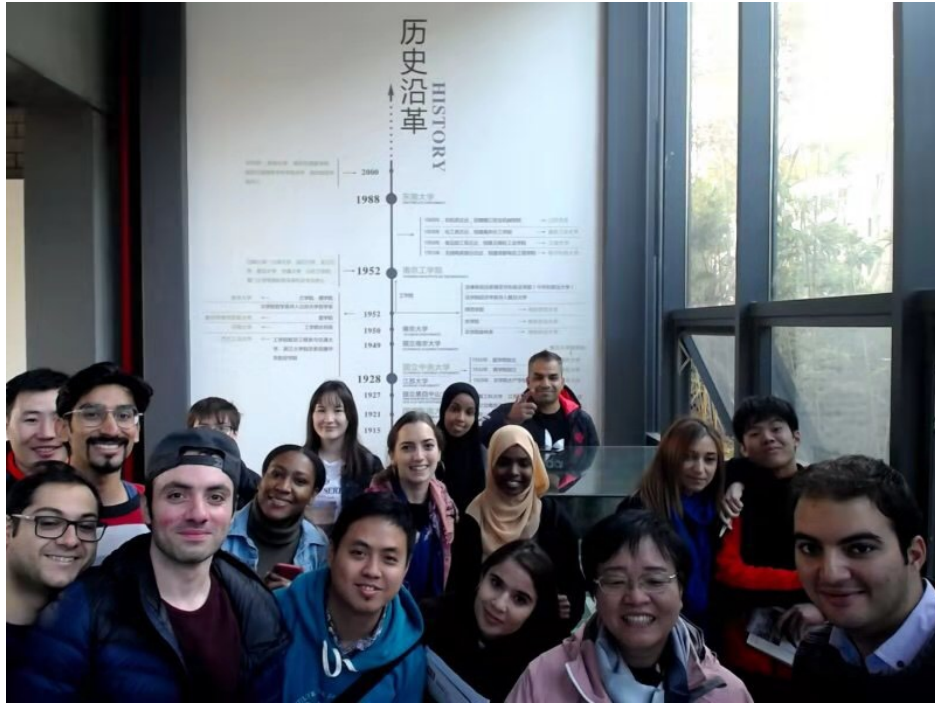
昨年 9 月から今年の 1 月末までの約半年間、東南大学での留学生活は私の中で最も素晴らしい経験でした。そこで皆さんに私の留学生活がどのようなであったかを紹介します。

今回の留学は私自身初めての海外留学であり、また中国語能力も非常に低かったため、不安でいっぱいでした。授業が始まると先生やクラスメートが何を言っているのかわからず、辛い日々が続き帰国を考えたりもしましたが、月曜日から金曜日まで行われる授業に必死で食らいつき、わからなかった部分を先生やクラスメートに質問することで、徐々に自身の中国語能力の向上を実感し、またその過程で異国の友人を大勢作ることができました。留学して一ヶ月も過ぎると友達との日常会話、スーパーやタピオカ屋の店員さんと簡単な会話ができるようになり、その頃には不安や悩みなどすっかり無くなっていました。

また、交友関係に関しても、隣部屋の友人がムスリムであったため、イスラームについて直接知識を得ることができたということや、チャットで出会った中国人の誘いで、日本語学校へ行き中国人に日本語を教えに行くなど、異文化交流の機会をたくさん得ることができました。これら全てが今の私にとって大きな財産となっています。

また、私の住んでいた四牌楼キャンパスは市中心部にあるため、付近の交通が充実しており、中国旅行も気軽に計画することができたので、南京以外の地域の雰囲気や食べ物を楽しむことができました。特に友人が実家のある舟山という中国の島に連れて行ってきて、私のために旧正月の料理を振る舞ってくれたことや、仏教で有名な島に案内してくれたことは一生の思い出です。

中国留学の半年間で大変なことや辛いことがありましたが、それ以上に楽しい思い出がたくさんできました。新型コロナウイルスの影響で期間が短縮してしまったことは残念ですが、振り返ってみると自身の中国留学は本当に貴重で大切な経験であったと身をもって感じています。



クラスメートと東南大学校史館に行きました。



大学の文化活動で中国の茶文化を体験しました。